



●独自のリベラルアーツ教育  
「青山スタンダード」

さまざまな問題を多角的にとらえ、自分たちの未来を主体的に決めていく総合的な価値判断ができる「良き市民 (good citizen)」を育成する全学共通教育システム。異なる学問や分野の仲間との「出会い」が複眼的な視野を養い、多様性を理解する。

【ウェルカム・レクチャー】

“大学で学問を学ぶ意義”について理解を深め、学生生活や社会で役立つことを伝える。

【フレッシュアズ・セミナー】

セミナー（演習）形式の授業を通じて、“大学における学びの作法”を体験的に学ぶ。

【キャリアデザイン・セミナー】

卒業後を「今」考えることで、職業観、勤労観の養成を目指す。

【コア科目】

《教養コア科目》

キリスト教理解、人間理解、社会理解、自然理解、歴史理解の5領域

《技能コア科目》

言葉の技能、身体の技能、情報の技能、キャリアの技能

【テーマ別科目】

コア科目の各領域科目の応用的かつアドバンストな科目で、基本的に2年次以降の学生が履修。個別的なテーマや各学部の専門基礎もしくは専門導入的な内容となっている。

●地の塩、世の光奨学金

一般選抜または大学入学共通テスト利用入学学生選抜を受験し、入学を希望する首都圏（東京(島しょ部を除く)、神奈川、埼玉、千葉）以外の道府県出身者で、学業成績が優秀かつ経済的理由で進学が困難な学生に対し、年額50万円を原則4年間継続（継続審査あり）で支給する奨学金制度。入学選抜の出願前または出願期間中の申請期間に申し込み、合格発表前に入学後の交付を約束する「予約型」給付奨学金。

●ウェブサイト『受験生向け大学案内』

各学部の授業紹介MOVIEや27本の学生による学科紹介MOVIE、キャンパスガイドMOVIEなど、在学生や研究者の声を紹介している。

(ページ上のQRコードからアクセス)

●2025年度一般選抜ダイジェスト

○2025年度一般選抜（個別学部日程）は「独自問題+大学入学共通テスト」で受験できる方式と「独自問題」のみで受験できる方式があります。

○2025年度大学入学共通テスト利用入学者選抜は、すべての学部・学科で実施し、3～6科目型を有し複数の科目型に出願が可能です。

※詳細は右のQRコードからアクセス



マクレイ記念館

吹き抜けを活用した開放的な中央閲覧スペース、外周部には多様なアクティビティに対応可能な小部屋（アイル）を配置しているのが特色です。アイルは目的別に使い分けが可能です。集中したい時は静音性の高い場所、グループ学習には移動可能なデスクやホワイトボードを備えた場所、気分転換をしたい時は飲食可能でカフェのような雰囲気のある場所など、あらゆるシチュエーションに対応しています。中央部の閲覧室にある吹き抜けからは自然光が取り込まれ、春秋には吹き抜け部分の上昇気流を活用し、空調熱源をほぼ使わずに館内を約26度以下に保つことが可能な環境にも配慮されています。

図書館フロアの2階～4階は「知を拡げる」場所として学び合うための空間と各種文献を配置。5階・6階には「知を深める」ための専門的な文献や研究個室、プレゼンテーションルームが設置されており、専門性の高い研究と発表・討論が生まれる環境となっています。中央部には

吹き抜けを活用した開放的な中央閲覧スペース、外周部には多様なアクティビティに対応可能な小部屋（アイル）を配置しているのが特色です。アイルは目的別に使い分けが可能です。集中したい時は静音性の高い場所、グループ学習には移動可能なデスクやホワイトボードを備えた場所、気分転換をしたい時は飲食可能でカフェのような雰囲気のある場所など、あらゆるシチュエーションに対応しています。中央部の閲覧室にある吹き抜けからは自然光が取り込まれ、春秋には吹き抜け部分の上昇気流を活用し、空調熱源をほぼ使わずに館内を約26度以下に保つことが可能な環境にも配慮されています。

豊富なカリキュラムで  
理工系人材を育成し、  
高い研究力を誇る理工学部

青山学院大学の理工学部は、新しい高温超伝導体の発見など、社会に大きなインパクトを与える数々の研究成果で国内外で高く評価されています。相模原キャンパスを拠点とし、物理科学科、数理サイエンス学科、化学・生命科学科、電気電子工学科、機械創造工学科、経営システム工学科、情報テクノロジー学科の7学科を擁しています。学生はそこで4年間学習し、サイエンスからテクノロジー、エンジニアリングまで幅広い知識を身につけることができます。高度な専門性と広い視野につながる教養を備え、社会課題の解決に取り組む理工系のサバント・リーダーを育成していきます。

専門性を高めるためには、基礎力が必要です。特に産業を支える機械電気、化学などの基幹工学を重視しています。そのため、初年度は学科に関係なく理学系・工学系および情報処理の基礎分野に関する実験・実習を必修としています。基幹工学の基礎を理解し、理工系の幅広い視野を身につけていくのがねらいです。



相模原キャンパス



青山キャンパス

青山学院大学のルーツは明治初期にまで遡ります。その長い歴史の中で培われた「地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する」という理念は、1996年に明文化されました。この理念を具現化するため、高校までの学びをスムーズに大学教育に接続するための入学選抜を実施。大学入学後は「青山スタンダード」のほか、各学部・学科の専門科目でも、思考力・判断力・表現力をさらに伸ばすカリキュラムを整えています。

また、2024年には、青山キャンパスに新しい図書館と情報メディアセンターを有する「マクレイ記念館」がオープンしました。さらに、理工系人材の育成が急務とされる中、理工学部は優れた研究力で知られ、大学院進学を視野に、教養と専門知識を兼ね備えたリーダーを育てています。

# 青山学院大学

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25 入学広報部 TEL 03-3409-0135 <https://www.aoyama.ac.jp/>

## 高大接続改革と多彩な教育で すべての人と社会のために未来を拓く サバント・リーダーを育成する

確かな学力に加え、「思考力」「判断力」「表現力」を評価する入学選抜

文部科学省の「学習指導要領」では、確かな知識と技能を習得するほか、思考力、判断力、表現力（3つの力）を涵養し、主体性をもって学ぶ態度が重視されています。

青山学院大学では「地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する」という理念のもと、高校で培われた3つの力を評価し、スムーズに大学教育につなげる取り組みをいち早く実施しています。青山学院大学の一般選抜で最も募集人数が多いのが、個別学部日程です。共通テストを併用し基礎学力を測るとともに、大学独自の試験問題では、記述式・論述・総合問題などで入学後に求められる力を多面的に評価します（一部の学部・学科・方式では、共通テストを併用しない独自問題のみの選抜も実施）。この独自問題は各学部・学科のアドミッションポリシーに基づき作問されま

す。入学選抜をおこなって受験生が学部・学科の特色を理解し、入学後の学びにスムーズにつなげることがねらいです。

新たな知の拠点となる  
「マクレイ記念館」がオープン

青山学院大学は、学院創立150周年の記念すべき2024年、青山キャンパスにマクレイ記念館をオープンしました。これは図書館と情報メディアセンターの機能をあわせもつ総合的な学術情報施設です。「学生本位」の視点に立ち一人ひとりのニーズに対応した設備やサポート体制を整備しています。収蔵冊数約150万冊、座席数約1500席を確保し、地下1階・1階は情報学習フロア、2階・6階は図書館フロアとなっています。

情報学習フロアは、学生が多種多様な教育研究活動を実施できる設備・環境が整っています。「知との出会い」を実現する空間として個人

